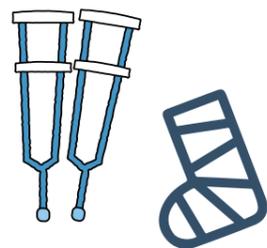


年齢を重ねることや、病気やけがによって、医療や介護が必要になってきます。いくつかの事例で、在宅療養に至る経緯をお伝えします。どんなことが起こるか、どんなサポートがあるかを知っておくことはとても大切なことです。

### 転倒・骨折

#### Aさん（70代男性、一人暮らし）

外出時に、つまずき転んで、骨折してしまいました。入院し、手術や治療が終わり退院することになりましたが、入院前のように歩けなくなってしまいました。



食事の準備はどうしよう…

2階の部屋まで上がるかな…

#### 1 発症・急性期の治療

病院に入院し、手術などの治療（急性期治療）を受ける必要があります。



#### 2 退院に関する相談

##### ●退院に向けた相談（P.23 参照）

多くの病院には退院調整を行う窓口があり、専門の看護師や医療ソーシャルワーカーに、退院後に必要なサービスなどの相談ができます。

##### ●要介護認定の申請

退院後、介護保険サービスの利用を考え、早めに、要介護認定の申請を行います。



#### 3

### 自宅での生活に向けた準備

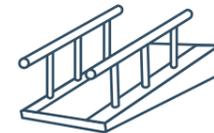
##### ●退院前カンファレンス

スムーズに自宅での生活が送れるよう、病院の担当者（医師や看護師、リハビリスタッフなど）と自宅で担当するメンバー（かかりつけ医、ケアマネジャー、ヘルパーなど）が、情報交換を行います。

##### ●家屋環境の把握・調整

状態により、退院前に病院のリハビリ担当者が自宅に伺い、自宅での環境のアドバイスをします。自宅での安全な環境を整えるためサービスを調整します。

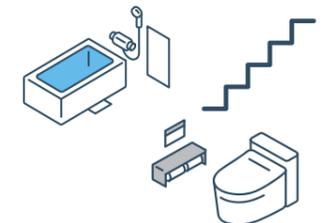
段差の解消  
(福祉用具のレンタルや  
住宅改修)



介護用ベッドの  
レンタル



トイレや階段に  
手すりの取り付け



#### 4

### 在宅療養

生活に必要な援助を受けながら、入院前と同じくらい歩けるようになることを目標に、リハビリテーションも続けることにしました。

訪問介護  
(ホームヘルパー)

買い物や部屋の掃除などを  
行います。

配食サービス  
(P.31 参照)

お弁当を自宅に  
届けます。

通所リハビリテーション  
(デイケア)

通所リハビリテーションにて、  
歩行訓練を行います。

#### Aさんの経過

一人暮らしのAさんは退院後のことを心配し、病院の退院に関する相談窓口に早めに相談しました。入院中に、要介護認定の申請を行い、退院に向けて準備を行いました。

生活に必要な場所（階段・玄関・トイレ・浴室）に手すりを設置し、本人が心配している食事や買い物などは、ケアマネジャーが訪問介護や配食サービスを提案しました。

退院後、通所リハビリテーション（デイケア）に通い、リハビリを頑張った結果、杖を使わずに歩けるようになりました。退院直後は、かかりつけ医の訪問診療を受けていましたが、今までどおり自分で通院できるようになりました。現在は、介護保険サービスを少しずつ減らしているところです。

